

## 予防学的視点に立った咬合の成育

医療法人 おおの小児矯正歯科 大野 秀夫



### 略 歴

1978年 九州歯科大学卒業。同大学院（小児歯科学）  
1982年 鹿児島大学歯学部小児歯科学講座助手  
1987年 長崎大学歯学部小児歯科学講座講師  
1988年 山口県下関市：(医)おおの小児矯正歯科開院

疾病の支援管理は疾病予防が基本である。しかし、不正咬合の予防は困難といわれている。その理由として、不正咬合は1つの病因によって発症しない。また、不正咬合は取り除き得ない遺伝子的因子や先天的因子に左右されることが多い。さらに、咬合を構成する素材は極めて多様性に富んでいるなどがあげられる。

そこで、不正咬合の予防は出来ないものの、歯列や顎の成長発達障害となっている因子をコントロールすること、また、顎口腔系の成長発達により影響を与える因子を誘導すること、そして来たるべき治療（本格的治療）を行いやすいようにするために、当医院では予防学的視点に立った咬合の成育を考慮している。

今回、その内容について講演する。

構成は以下の通りである。

内容

- I. はじめに
- II. 不正咬合の予防に関する考え方
- III. 予防学的視点に立った咬合の成育
- IV. まとめ